

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [金沢星稜大学] 担当教諭名 [清水 和久] (金沢星稜大学ジャンププロジェクト 20名)

交流相手国 [フィリピン]

海外学校名 [Mindanao International College] 担当教諭名 [武藤 大志郎]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	国際ボランティア講座	開発途上国の学習	8時間
	国際ボランティア演習	現地訪問調査	18時間
	課外活動	星稜ジャンププロジェクト	15時間

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	平和と愛
絵に込めたメッセージ	日本では東北地方を襲った津波、フィリピンではタクロバンを襲った台風による甚大な被害があった。この災害から人々を守るように、お互いの国のカメラに記録されたフィルムの中に伝統文化や生活の様子を描き出した。中心にはフィリピンの男の子と日本の女の子が平和の象徴である2羽の鳩の胸に抱かれている。

フィリピンで完成した壁画



日本側が最初に送った描画済みの壁画



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
9月にミンダナオ国際大学に金沢星稜大学の学生が訪問しており、十分な交流をベースに描くことができた。この交流をきっかけに大学間の提携が実現した。5月にはフィリピンの学生が日本を訪れる。	交流のプロセスにおいて、壁画の完成のみを目指すのではなく、内容について災害に対するさらに詳しい調査や、自分たちができるボランティア活動などについて、共同のテーマについてさらに高度な交流に発展する可能性があるであろう。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
大学のWebページに掲載された。 星稜ジャンププロジェクトの学内の発表会でプロセスも含め発表した。	学内では非常によい取り組みであると評価された。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月 7月	・塩飽隆子氏による skype 講演 ・開発教育教材「マジカルバナナ」によるフィリピンの農業の学習	・アートマイルプロジェクトのあらましやねらいについて理解した。 ・	国際ボランティア講座
情報収集	9月	・TV 会議の実施(自己紹介) ・ミンダナオ国際大学への訪問 学生との文化紹介プレゼンの実施、	・訪問前であり、これから会える期待感が高まった。 ・フィリピンについて交流相手に会えたことで、相手意識が高まり、やる気がアップした。	国際ボランティア演習
テーマ検討	11月	・日本とフィリピンの自然災害について調べ、文化や生活面で相手方に描画して欲しい内容を伝える ・互いに案を考えフォーラムで提案	日本の津波被害、フィリピンの台風被害などの共通の自然災害に対し、科学技術やボランティア活動など協力して立ち向かう必要性を感じた。	国際ボランティア講座
制作	12月	・TV 会議 壁面の構図の決定 日本の提案した構想をベースに互いの意見を取り入れて決定 ・クリスマスにかけて完成	日本の案をベースに合意が得られたこと、相手の意見も受け入れて合意ある構図案に決まったので学生は満足していた。	課外
鑑賞	3月	鑑賞	できあがりのすばらしさに感嘆！	課外

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことを ABC で記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	相手校に描いてもらう為に情報を提供した
異文化の理解	A	5	現地を訪問し、そこでも体験が描画されている
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	TV 会議でも英語で会話でき、相手が日本語を習っているのので、さらに深い話しもできた
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	フィリピンについてレポートを作成した。発表かで全学にアピールできた
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	プロジェクト型であり、1年から3年の有志が参加し、壁画を通して新しい人間関係が生まれた
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	壁画の描画の部分において役割分担ができた
学習を追究する意欲	B	4	フィリピンについて各自がテーマを決めてレポートを作成した
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	フィリピンの台風被害、フィリピン訪問の体験を絵に表すことができた。
作品を鑑賞する力	C	3	学期が終了後であったので、全員が集まったの鑑賞はできなかった。